令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 112-03-01

事務事業名		建築確認・指導等事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		建築指導課		連絡先		内線2560	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備		款	8	土木費
	施策の方向	2	良好な市街地の形成		項	4	都市計画費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	建築物の建築等の行為(建築主、設計者、工事監理者等・申請手続き等建築基準法の遵守)					
	目的 (どうしたいか)	建築基準法及び関係法令等の規制を以って、良好な建築物及び街区環境の整備に資することを目的とする。					
	手段 (事業内容)	指定確認検査機関からの事前調査制度(確認経由業務)を以って、関係法令の規制などの調査を行い、計画建物等の違反の未然防止や指導を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 一般事務費 :231千円 OA経費:751千円 負担金 :214千円 【特定財源】 手数料 :3,590千円 府補助金:69千円 (うち人件費相当分、50千円)	
当初予算額	事業費	1,373	1,476	1,469		
決算額	事業費	1,246	1,196	-		
	特定財源等	2,531	3,609	-		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	確認経由件数	単位	件
指標の説明	市内での建築等の行為に係る件数を把握できる		
		令和元年度	令和2年度
目標(見込)	500	500	500
実績	505	497	-

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市内完了検査済証交付率	単位	%
指標の説明	建築確認申請通りに工事施工が行われたことを確認する		
		令和元年度	令和2年度
目標(見込)	100	100	100
実績	91	96	-

≪事業の参考数値等≫
 完了検査数
 (民間検査機関検査数含む)
 R01:425件
 R02:419件

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 法律適合の基礎資料収集及び検査機関への監督効果として必要な業務であるため。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 112-03-02

事務事業名		建築審査会運営事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		建築指導課		連絡先		内線2560	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	土地利用・市街地整備		款	8	土木費
	施策の方向	2	良好な市街地の形成		項	4	都市計画費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	建築基準法の施行に関する重要事項の調査審議を必要とする案件の土地及び建築物の所有者					
	目的 (どうしたいか)	建築審査会は建築基準法第78条に規定される特定行政庁からの諮問に対し、案件等が発生した場合に必要なに応じて開催され、建築基準法の施行に関する重要事項を調査審議することを目的とする。					
	手段 (事業内容)	当市における建築審査会は、7名の委員で構成され重要事項の調査審議を行い、出席者の過半の賛成を以って同意される。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 一般事務費 :173千円 審査会事務費:26千円 負担金 :63千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	790	1,249	807		
決算額	事業費	323	262	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	審査会開催回数	単位	件	
指標の説明	建築審査会に諮問する案件が出た場合に開催			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		4	6	4
実績		0	0	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	個別許可の審査件数	単位	件	
指標の説明	建築審査会で同意された個別許可案件の件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		2	3	2
実績		0	0	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 法律適合の重要事項を調査審議するため必要な業務であるため。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 112-03-03

事務事業名		開発許可・指導等事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2560	
担当部署名		建築指導課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	1	土地利用・市街地整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	2	良好な市街地の形成		目	4	都市整備推進費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	開発行為等を行おうとする事業者等					
	目的 (どうしたいか)	良好な都市環境の形成と秩序ある都市機能の整備を促進するため、一定の基準をもって都市計画法令を遵守するよう指導することにより、良好な生活環境の形成を図ることを目的とする					
	手段 (事業内容)	都市計画法令及び開発指導要綱に関する基準等を定め、それらを遵守するよう指導及び啓発に努める					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 一般事務費:173千円 負担金:10千円 【特定財源】 手数料:3,789千円	
当初予算額	事業費	301	270	237		
決算額	事業費	229	183	-		
	特定財源等	3,852	3,789	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開発許可件数	単位	件	
指標の説明	一定条件以上の土地利用の件数を把握できる			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		30	50	30
実績		45	27	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	検査済証交付率	単位	%	
指標の説明	開発許可どおり工事施工が行われたことを確認できる			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		100	100	100
実績		100	100	-

≪事業の参考数値等≫

完了検査数
R01:23件
R02:17件

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 法律適合を判断するために必要な業務であるため。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)